

令和5年度

ほうなん子ども園の自己評価について

ほうなん子ども園

自己評価というのは、自己申告で行われるものです。

これによって「保育者全員が一定の水準で評価されている」ということを知ることができモチベーション向上につなげていきます。

園にとりましても、職員同志の信頼関係はとても重要であり、一人ひとりの成長は園の成長にもつながってまいります。

モチベーションを高く保つためにも、自己評価は大変意味のあるものだと思います。

よって、ほうなん子ども園では、自己評価の結果を下記の通り HP にて公表いたします。

★自己評価は年に2回行う（10月末、3月末）

★項目については、今後改善・追加等を行う

【評価基準について】

A … 90%以上 達成できている状態

B … 70～89% あと少しで達成・取り組みなど頑張っている

C … 50～69% 頑張って取り組まなければいけない状態

D … 49%以下 ほとんどできていない

自己評価表

令和5年度上半期 幼保連携型認定こども園

ほうなん子ども園自己評価表

評価項目		評価
運営管理	① ほうなん子ども園の施設の目的・運営方針・保育目標の周知を職員や保護者などに図っている。	A
	② 定期的な職員会議等を通して 職員の資質向上業務効率化や改善に努めている。	A
守秘義務	① 園児の個人記録は個人情報法に基づいて管理・保管している。	A
	② 園内で知りえた事柄について守秘義務を徹底している。	A
安全・危機管理	① 事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる所にある。	A
	② 外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている。	A
	③ 緊急時の為に医療機関等の連絡先等が明示されている。	A
	④ 園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している。	A
教育・保育環境	① 教育・保育環境を常に清潔に保ち、心地よい環境で教育・保育ができるように努めている。	A
	② 室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している。	A
	③ 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	A
健康管理・衛生	① 園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され教育・保育に反映させている。	A
	② 日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体調に合わせてた教育・保育を心掛けている。	A

教育・ 保育内容	①	すべての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	A
	②	園児に分かりやすい温かな言葉づかいで穏やかにはなしをしている。	A
	③	基本的生活習慣は、園児の発達を考慮し、家族と連携して状況に応じて対応している。	A
	④	園児の発達に応じた玩具や遊具を室・量ともに適切に用意している。	A
	⑤	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性をはぐくむ配慮をしている。	A
	⑥	園児同士のかかわりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている。	A
食育	①	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	A
	②	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある。	A
	③	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている。	A
	④	食物アレルギーのある園児は管理栄養士、栄養士、調理員、職員で密に連絡を取り、除去食等で対応している。	A
子育て支 援・ 地域交流	①	園児の送迎時に、園児の様子を伝えている。	A
	②	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている。	A
	③	保育参観等の機会を設け、保護者に教育・保育を理解してもらう工夫をしている。	A
	④	地域交流・中学生の職場体験・実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を、全職員が理解している。	A

令和5年度 自己評価のまとめ

ほうなん子ども園

『園の目標』

- ・今年度より取り入れた「自己評価表」に基づき、定期的に自分を見つめ直す。
- ・職員会議・学年会議・園内研修等を開き、保育の質の向上を図りたい。

『各自の目標』

- ・保育の質の向上を求めつつ、歳児別に保育活動の計画→実践→振り返り→改善という流れで取り組んでいく。
- ・限られた保育者にとって、保育活動や行事等、大きな負担にならないよう、助け合いながら進めていく。
- ・専門知識を身につけるため、できるだけ研修に参加したい。
- ・気持ちに余裕をもって視野を広げながら保育をしていきたい。
- ・職員間で話し合いながら、こどもたちにとって良い環境づくりをしたい。
- ・行事準備などの際、どうすれば職員が動きやすくなるかを考え、効率よく仕事ができる職場環境を整えたい。
- ・自分の仕事に責任を持ち、周りの状況を見て自分から行動していきたい。
- ・季節に合わせ、自然に触れる機会を得られるような保育を取り入れていきたい。
- ・保護者と信頼関係を築きながら、子どもの成長を見守っていきたい。
- ・保育者がお互いの意見を言い合えるような関係性を築き、子どもたちの成長を保護者とともに喜び合えるような園にしていきたい。
- ・保育者同志協力しながら、みんなで意見を出し合い、行事等も環境に合わせて変えていくなど、より良い保育活動を志していきたい。
- ・健康面に注意しながら仕事に取り組んでいきたい。
- ・清掃において、まだまだ行き届いていないところがあると思うので、少しずつ行っていきたい。
- ・周りの状況を見ながら、できる範囲で先回りをするなど、すぐに対応できるようにしたい。

『今後の課題』

- ・ 職場の環境を考慮し、行事等効率よく行えるように工夫する。
- ・ 園の保育理念に沿って、職員が同じ目標に向かって保育・教育ができるようにしたい。
- ・ 自分の学んできたことを大切にしながら、心に余裕をもって職員間で協力し、助け合いながら保育を行う。

以 上